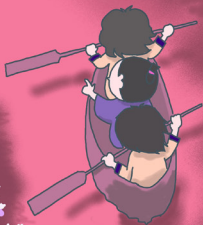


# まつうらさんと たびするほん3

テッシ(天塩川) ~イシカリ(石狩川)  
~ユウバリ(夕張川)  
~シリベツ(尻別川)ルート

## タケシロードツアーG



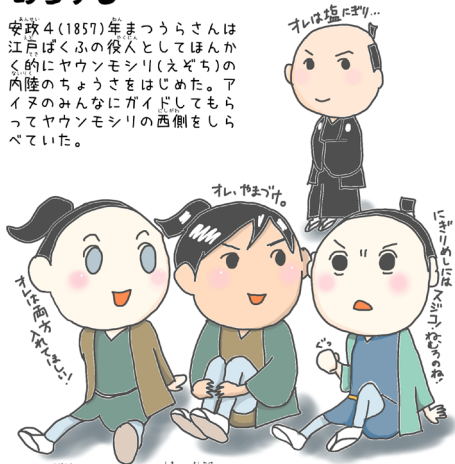
# こんかい とうじょうする おもなちめい

あおは川、べにいろは陸



## これまでの あらすじ

安政4(1857)年まつうらさんは江戸ばくふの役人としてほんかく的にヤウンモシリ(えぞち)の内陸のちょうさをはじめた。アイヌのみんなにガイドしてもらってヤウンモシリの西側をしらべていた。



玉虫 佐太夫  
堀にスカウトされた仙台出身の秀才。さろく者としてとつもない才能をはつきし、のちに福沢諭吉などとともにアメリカにもはけんされる。1823年生まれ

魚 養勇  
札幌市と北海道神宮のきそをつくった。佐賀ワ賢人の1人。せいぎ感強め。のちにまつうらさんの大親友となり、えぞちのためにはたらく。1822年生まれ

松浦 武四郎  
えぞちの土地とアイヌを守るため、えぞち中を歩いてちょうさ。絵と文がとくい。超しゅんそく。好きな食べ物、いり大豆。人情にあつい。1818年2月6日生まれ

堀 利熙  
函館奉行。  
まつうらさんのよきりかいしゃ。  
1818年生まれ



安政4(1857)年 フレナイ(洞爺湖町)会所\*

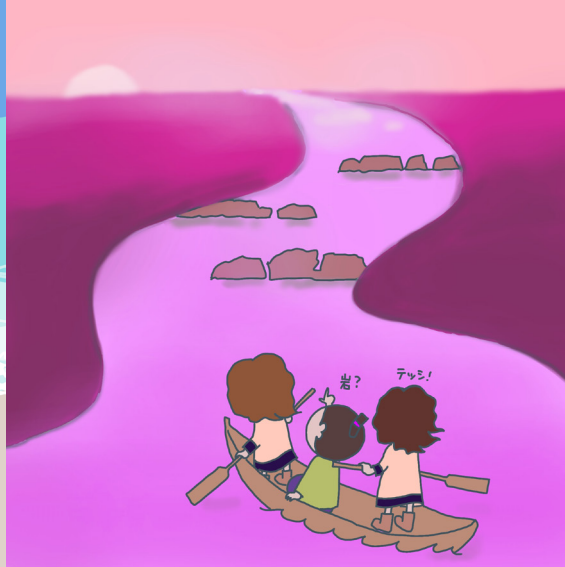
まつうらさんは、「尻別川をガイドしてくれるアイヌをつれてきて!」と支配人につめよっていた。

なぜこうなったかといえば…。

\*会所…漁やあきないをするところ。以前は運上屋といって



さかのぼること<sup>あきせいの</sup>安政4(1857)年6月9日 テシホ<sup>てしあがわ</sup>(天塩町)  
 イシカリ<sup>いしかり</sup>から<sup>どうこう</sup>同行してきた<sup>こけな</sup>チーム堀とは、<sup>いづこうどう</sup>ここから別行動のまっ  
 つうらさん。半年前に<sup>はんねんぜん</sup>病で命をおとしそうになった<sup>いのか</sup>まっつうらさん  
 は、あらためて堀さんのやさしさに<sup>あまじ</sup>ふれて涙があふれてきた。  
 「弱気<sup>よわげ</sup>に<sup>じやく</sup>な<sup>り</sup>な<sup>っ</sup>て<sup>い</sup>ら<sup>れ</sup>な<sup>い</sup>。オレには<sup>しめい</sup>使命がある！」  
 こうして<sup>い</sup>まっつうらさんは<sup>てしあがわ</sup>天塩川へ、<sup>いづこう</sup>チーム堀は<sup>カラフト</sup>カラフトへ。



まっつうらさんは<sup>てしあがわ</sup>テッシ(天塩川)に<sup>ついで</sup>よって<sup>ちゆうさ</sup>内陸の調査をはじめた。  
 テッシとは<sup>こけな</sup>魚をとるしかけの<sup>いわ</sup>ことで、<sup>いわ</sup>テッシのような<sup>いわ</sup>岩がある<sup>ところ</sup>と  
 ころを<sup>そ</sup>う<sup>よ</sup>ん<sup>で</sup>いた。昔、鬼神<sup>おに</sup>がつくった<sup>いわ</sup>岩だ<sup>とい</sup>わ<sup>れ</sup>て<sup>い</sup>る  
 んだ。それが<sup>てしあがわ</sup>テッシ(天塩川)の<sup>ゆらい</sup>由来<sup>なんだ</sup>だよ。  
 ちなみに、<sup>あま</sup>テッシの<sup>し</sup>じ<sup>み</sup>は<sup>と</sup>と<sup>も</sup>大<sup>き</sup>く<sup>て</sup>、<sup>な</sup>ま<sup>ら</sup>び<sup>み</sup>。<sup>れいわ</sup>令和  
 の<sup>いま</sup>今も<sup>あいにづ</sup>テッシの名物<sup>なのだ</sup>なのだ。



テッシはとにかく蚊やアブが多かった。  
 ある夜、ツウヨイというところでカヤに入ってねようとしたまつらさん。ところがアイヌのみんなは外で蚊やアブとたたかっている。まよった末にまつらさんは、カヤには全員入れないからみんなと頭だけ入ってねることにした。  
 次の日、みんな足がさされほうだいだったことはいうまでもない。



トンベツツホ(音威子府村)では、クマまつり\*に参加した。まつらさんは「ちがう世界を見ているみたいだ」と感激した。  
 ここで会ったエカシ\*から「私たちはおたがいのことをカイナーとよんでいる」という話をきいた。  
 \*クマまつり... とらえたクマに感謝してたましいを神さまの国に帰すおまつり  
 \*エカシ... おじいさん、ちょうろう

ためしよみ

は

ここまでです